

KEY NEWS

# 日本一の地域メディアで地元を元気に 5,000万部発行体制整う

この度、当グループは株式会社中広メディアソリューションズを創業。また株式会社ケイ・クリエイトおよび株式会社ケイピーエスとの一体化により、『地域みっちゃく生活情報誌』発行の基盤を一層強化いたしました。VC各社を含め総発行部数は全国で約1,163万部に増加。目標とする5,000万部発行に向け、万全の体制が整いました。

## 株式会社中広メディアソリューションズ創業

### 神奈川・東京・埼玉・宮城の仲間と「志」ひとつに体制強化

7月1日、神奈川県横浜市にて株式会社中広メディアソリューションズ(CMS)の創業式・祝賀会が開催されました。代表取締役社長に就任した釜薫からは「35年前に『ばど』を創刊以来、諸先輩が事業を繋いできてくれた。多くの苦労、努力のうえに今日があります。新たなスタートを切り、日本一、地域に必要とされる会社を中広グループでつくりあげていく」と決意を語りました。

大島齊社長からは「今日という日を待っていました。北海道から沖縄県まで、地域に熱い思いをもった日本最大の集団であります。地域にみっちゃくしたメディアで日本を元気にしましょう」と祝辞を送りました。また第44期に従業員が『地域みっちゃく生活情報誌』を発行するなかで得た、地元からの感謝の言葉をまとめた『ありがとうがとまらない』



から、エピソードを紹介。地域に必要とされる情報誌を発行する意義を改めて共有しました。

釜社長は「CMSの存在意義」を「地元のビジネス支援・情報支援で地域経済活性化を実現し、より心豊かに暮らせる世の中を創出する」と発表。2022年度の社内テーマは「熱く、厚く、黒くぬれ」と情報量の増加と黒字化を決意しました。今後、新規創刊を視野に関東地区の拠点としての活躍が期待されます。



決意表明をする釜薫社長



コーポレートカラーは「緑」。地域に受け入れられやすい親しみのある色としました

## 株式会社ケイ・クリエイト、株式会社ケイピーエス合同決起大会

当社は愛知県尾張地域で『くれよん』を発行する株式会社ケイ・クリエイトと配布事業を展開する株式会社ケイピーエスの資本増強を受け、この度、一体となって事業の展開を加速してまいります。

7月8日の合同決起大会は、各部署で活躍



する従業員が集い、両社のこれまでの歴史を振り返りながら、今後を語り合う時間となりました。

『くれよん』は現在、約50万部を発行中。各編集室は最強軍団といえる営業力を備えています。中広グループが開催した「大営業祭」にも参戦し、優秀な成績を収めています。その営業力にグループ全体が学び、さらに一体化して情報誌発行網の強化に努めてまいります。

当社の執行役員も務める池戸武志社長からは「今日からは『家族』です。皆さんの力が



あって、事業は成長します。情報を共有し共に地域を盛り上げていきましょう」と熱い言葉が送られました。

COLUMN

## 覚悟

### 「大島丸」の船出、122名の新しい仲間を迎えて

暑中お見舞い申し上げます。

### 中広グループ608名 日本最大規模の情報誌網

我が社は7月、歴史と伝統ある3社と一体化しました。一つは神奈川・東京・埼玉・宮城でフリーメディアを展開する「CMS」(中広メディアソリューションズ)。一つは愛知県尾張地域を中心に情報誌を発行する「ケイ・クリエイト」。そして情報誌をポストアップしている「ケイピーエス」です。総勢122名を迎えました。

ご家庭に直接お届けするハッピーメディア®「地域みっちゃく生活情報誌」は、北は北海道・滝川市、南は沖縄県・宮古島まで、VCの仲間たちと総発行部数約1,163万部、日本最大規模の「情報誌網(インフラ)」となりました。「地域社会」に不可欠な情報誌を創造し、社是である広告業を通して「地域社会に貢献する」との「強い覚悟」をもって、中広グループ608名はまい進してまいります。一体化にご尽力いただきました関係各位に、衷心より感謝御礼申し上げます。我々の目標は日本全国5,000万世帯に『地域みっちゃく生活情報誌』をお届けすることです。

そして、我が社は6月より新体制「大島丸」となりました。大島齊新社長を中心に全社員心をついにし、「万人より善く生きる」ため、目標実現に向け、覚悟をもってチャレンジを続けてまいります。

### 元総理の死 民主主義と暴力

人は何のために生きるのか。「死に向かつて歩むこと」です。尊敬する解剖学者・養老孟司先生は「人生でただ一つ確実なことがあります。人生の最終解答は『死ぬこと』だということです。これだけは間違いない。過去に死ななかった人はいません。人間の致死率は100%なのです」(『死の壁』より)と述べています。「人は必ず死に、そしていつ死ぬかわからない」のだから、「今日を限りに生きる」というのが私の死生観です。

7月8日、奈良市で演説中の安倍晋三元総理が銃で撃たれ死亡しました。非常にショッキングな事件で、日本中が哀しみに包まれました。撃たれた瞬間をテレビやネットで目にとると、「人は死ぬべき」存在だとは申せ、いかにも無常であります。

この安倍元総理銃撃事件で二つのことを

思いました。一つは、「<sup>じょうじゅうしん</sup>常住死身」です。政治家は「国家国民のために」、自らの言動に責任をもつ職種であり、常に死を覚悟して生きねばなりません。安倍元総理の死去は残念でありませんが、政治家とは「死期の心を観念し、朝ごとに<sup>けんたい</sup>懈怠なく死して置くべし」。「常住死身」の覚悟がなければ、就けない職業なのだ、改めて思いました。

もう一つは民主主義と暴力についてです。識者やメディアは、この蛮行は民主主義を冒瀆するものだと言いますが、民主主義を隠れ蓑にして暴漢を否定するのは間違いです。権力には常に暴力が付きまとい、民主主義と暴力の親和性を我々は認識すべきです。現に、民主主義国家の軍隊がイデオロギーの違う国と武力衝突を起こしています。日本は法治国家です。殺人は司直の手によって裁かれるものであり、そこに民主主義を持ち込むのは問題です。この国の司々に、官公吏としての覚悟が感じられないのが残念でなりません。



### 地域社会への貢献 「喜働」たれ

「働かざる者食うべからず」などと申しますと古臭いと叱られますが、私は「人間とは働くから人間である」と思っています。労働は「人々の利便に資する」ための営みです。何のために仕事をするのかが明確でないと、働く意味を取り違え、労働を苦役だと捉えてしまいます。我が社は明確です。「広告業を通して地域社会に貢献」し、情報誌を発行して「地域経済を活性化」することです。

発行エリアの読者から「役に立った」「ためになった」という声が届くように、情報誌の活用は、その地域社会への貢献なのです。ですから、おざりな情報誌の発行は許されません。1ページ1ページ、ページをめくるたびに驚きと発見、楽しさと感動をもたらす情報が掲載されていなければなりません。情報誌は生き物です。作り手である我々がどんな思いで

情報誌を作っているか、読者はお見通しです。手を抜けば飽きられ見向きもされなくなり、心を籠めれば愛され応援していただけます。

「広告が経済の尖兵」であり、情報誌づくりは「社会に貢献する仕事」です。価値ある情報を世に送り出す覚悟は、生半可ではないことを理解していただきたいと思ひます。そのためにも、私は「喜働」たれと申し上げたい。

### 素直に正直に謙虚に、 そして覚悟をもって

我が社は創業45周年を迎えました。50周年に向け二つの大目標を掲げています。それが中期経営計画です。新たな仲間たちとともに、その目標に向かって歩みます。45年の歴史には先達の血と汗が染み込んでいます。多くの人の協力と支援、試練を生き抜いた仲間たちによって、今があります。振り返れば困難の連続であり、決して誇れるようなものではありません。しかし、有難いことにピンチには必ず救いの手が差し伸べられ、その一つひとつが私の心の中に、感謝の思いとして深く刻まれています。

今期の我が社のスローガンを「愚直なまでに報恩謝徳の精神で」としたのは、我が社を支え応援してくださった方々へ感謝の心もち、必ず報いる。その愚直さがなければ我が社の寄って立つ基盤はない、と覚悟を決めたからです。しかし、まだまだ未熟です。中広グループ全体が「報恩謝徳の精神」を実践するために、以下の四つを心に刻んでいただきたいと願います。

一つ目は「素直」になる。人の話を聞き入れ、直ちに行動する素直さです。行動量が足りないのは、素直な心が欠けるからだと思っています。二つ目は「正直」になる。人は何かを隠したり嘘をついたりすると、行動に現れます。苦手から逃げたがるのは、正直でないからだと考えています。三つ目は「謙虚」になる。俺が私がの「我」を捨てられない自己中心的な生き方では、豊かな人間になれません。そして、四つ目は「覚悟」をもつ。自らを律する心構えがあれば、人は大きく強くなれます。

新たに迎えた仲間は、キラキラと輝く122の宝物です。「報恩謝徳の精神」を実践する中広グループとして、素直に正直に謙虚に、そして覚悟をもって、大島丸608名の仲間とともに創業50周年に向け、覚悟を決めて目標の実現にまい進しましょう。

11,636,873部

※ECVエリア含む ※2022年7月末現在 ※世帯到達率は媒体配布部数を7月21日現在の各県が公表している世帯数で割り算し ※一部イレギュラーな発行に伴い、8月に流通していないものが含まれます。

Table of magazine distribution data for Hokkaido, Aomori, Iwate, Miyagi, Fukushima, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine distribution data for Iwate, Miyagi, Fukushima, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine distribution data for Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine distribution data for Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine distribution data for Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine distribution data for Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine distribution data for Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine distribution data for Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine distribution data for Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

読者の声 表紙がおいしそうなおスイーツ系だと、「わっ!おいしそう!」と、ワクワクします。(Hさん・40代) 夏スイーツがおいしそうだなと感じました。特にかき氷を見ると、「夏が来たなー!」と思います。(Sさん・20代)

掲載レスポンス 山の中に新しくオープンしたカフェ。緑に囲まれたテラスや木材を取り入れたおしゃれな建物など写真を多めに使用し、雰囲気重視。どんな店か知ってもらうため、最小限の店舗情報におさえ、インスタに誘導しました。

読者の声 22周年おめでとうございます! コラボ企画の全店舗を制覇したくなりました。(Iさん・30代) 22周年おめでとうございます。一宮市に嫁いで10年。「くれよん」を頼りにお店を探すのは今も変わりません。(Mさん・40代)

『ままこっこ』 園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン 【配布先】 県内全域の幼稚園・保育園・こども園 【発行時期】 年4回(1月・4月・7月・10月) 【設置先】 産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等 【発行部数】 岐阜版 / 65,000部 札幌版 / 40,000部 群馬版 / 60,000部 函館版 / 34,000部 千葉版 / 70,000部 【仕様】 冊子A5版 オールカラー

「講演会インフォ」 ゲスト講師、タレント選びからイベント企画立案、当日の運営までサポートするネットワークサービス 【対応エリア】 全国 【登録講師数】 6,000名 【内容】 講演会・研修会・ウェブセミナー・コンサート等の企画運営 【年間案件数】 400件以上

「フリモ」 編集部オススメの地域の逸品をご紹介します! 500万部の『地域みっちゃく生活情報誌』で告知をおこなうため、毎月安定した流入が見込めます。編集室のレビューは、第三者目線のコメントも参考にするとユーザーから好評!

クーポンアプリ「フリモ」 24万件突破!! ダウンロード数 2022年7月23日現在 246,016件

フリーマガジンと連動して 地元へアピール 店舗情報ページには、お店が持っているSNSやホームページにジャンプできるアイコンを表示! タップすれば そのままアクセスできます。

GoogleMAP連動で 現在地からもお店を探せる! TOPページの下部メニュー「探す」で、現在地から近くのお店も探せる 便利な絞り込み機能も搭載 知らなかった近場のお店と出合えるかも!

フリーマガジンと連動して 地元へアピール 各戸配布するフリーマガジンへクーポンアプリ「フリモ」(またはブラウザ版)に繋がるQRコードを搭載することで、直接、紙には載りきれない店舗情報を近所へ届けます。

フリーマガジンと連動して 地元へアピール 各戸配布するフリーマガジンへクーポンアプリ「フリモ」(またはブラウザ版)に繋がるQRコードを搭載することで、直接、紙には載りきれない店舗情報を近所へ届けます。

スタンプラリー企画で街に人の動きを！

地域みっちゃく生活情報誌

## 地元の魅力発信！そこから始まる街歩き

中山道の宿場町として栄えた滋賀県米原市醒井。清水が湧き出るこの地では、7月下旬から8月下旬にかけて可憐な梅花藻が見頃を迎えます。米原・長浜市で発行している『ぼてじゃこ倶楽部』7月号は、表紙・巻頭特集で梅花藻と醒井の魅力を発信。巻頭連動企画として「フリモ」アプリを活用した街歩き企画「米原スタンプラリーMAP」を実施しました。



市全体を3つのエリアに分けて、それぞれミニMAPを制作。車での移動が基本である地域を楽しみながら巡ってもらえるよう工夫しました。「スマホ片手に気軽に地元巡り」ということで、グルメ・ショッピング・ものづくり体験など多彩なジャンルの店舗に関心を寄せていただき、2ページの予定を5ページに拡大。あらゆる世代の方に楽しんでいただける企画となりました。

楽しいところは人は集まり、人が動けば経済が動きます。ぼてじゃこ倶楽部編集室では、これからも地元の魅力にさまざまな角度でスポットを当て、ワクワクするような情報誌づくりに取り組んでまいります。

(滋賀支社・上本)

地元のお祭り告知掲載・飲食店MAPを制作

地域みっちゃく生活情報誌

## 地域密着ならではの祭り告知

名古屋市中区尾頭橋エリアで実施される「中川金魚まつり」。コロナ禍の2年間は中止および規模を縮小しての開催となっていたが、今年は7月23日(土)の開催が決定しました。それに伴い、名古屋市内で発行している『NAGOYA FURIMO』中川版7月号で祭りの告知を掲載。地元中川区の祭りを中川区民に周知するには最適な媒体だとして依頼いただきました。



今年は感染対策の一環で出店でのアルコール提供を行わないため、新たな試みとして近隣商店街でアルコール提供している飲食店を紹介する「尾頭橋エリア飲食店MAP」をB2チラシで配布。会場ではMAPを読み込みできるQRコードが印刷された団扇を配ることになりました。当社が情報誌で実施しているエリア企画の誌面イメージを気に入っていただき、飲食店MAPも担当することができました。10年以上発行する地域に根差した情報誌であり、培ってきたノウハウが生きた事例となりました。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

(名古屋支社・神谷)

宮城県内約18万部発行！3誌合同企画

地域みっちゃく生活情報誌

## オープンキャンパス・ゆるキャラ・移住など

宮城県で発行する『とみいず!』、『なうてい!』、『さきっぺ!』の3誌では小冊子を挟み込む企画を3カ月に1回実施をしています。毎回クライアント、読者から好評で、今回の7月号では過去最高の20ページを作ることができ、ボリューム感のある誌面となりました。内容は、学生にうれしいオープンキャンパス企画や部活動を紹介する部活動エール企画を実施しました。



部活動エール企画で紹介をした和太鼓部には発行後すぐ、「地元の祭りに参加してほしい」との声があり、地域との繋がりを感えています。他にもゆるキャラ企画、移住企画、豪華プレゼント企画で充実の誌面となっています。読者からは「地元のゆるキャラがこんなにたくさんいるのを初めて知りました。どのキャラクターも個性的でいろんな設定があり面白かったです」との声も。豪華プレゼント企画では約840件の応募があり、読者数が増えていることを実感しています。

今後も3誌合同企画を通して各発行エリアを行き来してもらい、宮城県内全域を盛り上げていけるようにします。

(宮城ブロック・大沼)

愛知県の魅力を発信！

冊子制作

## 観光情報誌『旬感観光あいち』編集・作成

一般社団法人愛知県観光協会が年4回発行している観光情報誌『旬感観光あいち』2022年度版の制作をお任せいただけることとなりました。夏号が完成し県内各地に6月末から設置されています。夏号は「大人のバケーション」「あいち冷やし旅」と魅力的なコンテンツで県内の観光情報が網羅されています。1冊を通して「読みやすい」「分かりやすい」を基本とし、幅広い読者に愛知県の魅力が伝わるよう編集・デザインに配慮しました。また、VC社を含む県内各地の編集室とも連携し、情報収集に取り組めるのも当社の強みです。



「大人の読者に響く」を意識し、「行きたくない」を表現するため写真を引き立てるデザインで作成した本誌を片手に、愛知県内の観光スポットを訪れてお楽しみください。現在、秋号(8月末発行)を制作中です。行楽シーズンでもある秋号の掲載内容については発行をお楽しみに。

地域情報を取りまとめる冊子制作についても、ぜひご相談ください。

(名古屋支社・木澤)

## VC TOPICS

静岡県藤枝市『ふじえ〜ら』株式会社藤枝江崎新聞店

## 藤枝の地酒と料理を楽しむ「藤枝はしご酒」イベント開催！

藤枝市には全国的にも有名な酒蔵が4つあります。また、駅周辺には多くの飲食店があり、新型コロナウイルス感染症拡大以前は毎週多くの人でにぎわっていました。

2019年7月に初めて開催した「藤枝はしご酒イベント」ですが、その後、コロナの影響で第2回が開催できずにいました。そんななか、藤枝市役所商業振興課からの支援とアドバイスを受け、第6波が収まったタイミングで開催の運びとなりました。

当日は天気がすぐれなかったにもかかわらず多くの人でにぎわい、抽選で用意した景品も足りなくなるほどでした。参加者からは「お酒を提供する大人のイベントはもっとしてほしい」「街に人がでてきてくれて非常にうれしい」とお言葉をいただきました。また、協力店舗も「久しぶりにこんなに人があった」と喜んでいただきました。今回の経験を生かし、今後も定期的に開催したいと考えています。



▲2022年7月号誌面

## CHUCO CLUB

## 第50回岐阜広告協会賞2作品受賞

岐阜県内で制作された優れた広告作品を検証する「岐阜広告協会賞」。今年、中広はフリーペーパー・雑誌広告部門で金賞と銀賞のダブル受賞となりました。

【金賞受賞・笠松隕石最中 宙からの甘い交信】

笠松町タウンプロモーションの一環として、笠松菓子組合の協力のもと「笠松隕石最中」という菓子のPRを『GiFUTO』11月号に見開きで掲載。インパクトとユーモアを意識した誌面構成で、オカルトブームがあった80年代をイメージした“怪しさ”を演出したデザインが注目を集めました。



【銀賞受賞・受け継がれる東濃の誇り〜東美卒業生が活躍する企業&お店企画】

『かにさんくらぶ』8月号に掲載された、創立100周年を迎える東濃実業高校の巻頭企画が受賞。高校の現役生徒会メンバーと企画した巻頭特集に続き、地元で活躍するOBや企業による協賛広告で合わせて8ページにおよぶ大迫力の誌面を評価いただきました。



(岐阜支社・野々村)

## 第3回「大営業祭」成績上位者発表

2022年4〜6月の3カ月にわたり、中広グループ全体で「地域みっちゃく生活情報誌」の情報量を向上させることを目的に第3回「大営業祭」を開催。全部門の社員が顧客獲得に奔走しました。

1 岐阜支社 Wao!club編集室 松井さん



この度は、大変光栄な表彰をいただき誠にありがとうございます。日頃、大切にしている「成功イメージを描き即行動・自分自身の成功事例を作る」1軒まるごとコンサルする気持ちで「寄リ添い営業」で結果が出せたことを大変うれしく思います。引き続き社内外、周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、まい進いたします。

2 滋賀支社 オウティ編集室 村林さん



この度は、栄えある賞をいただき大変うれしく思います。私は働くママですが、この結果は日頃支えてくださる周りの方々のお陰であり、感謝申し上げますと共に、同じ境遇の方の励みになれたら光栄です。お客様の話をしっかりとヒアリングし、寄り添った提案を意識してきました。今後も皆様との絆を大切に、仕事にまい進してまいります。



愛知支社 さんごくらぶ編集室 松原さん

7位 ..... つっぴーず編集室 小宮さん  
8位 ..... Bellve club編集室 高林さん  
9位 ..... くれよん岩倉版編集室 毛呂さん  
10位 ..... maika club編集室 早川さん  
11位 ..... 名古屋フリモ 守山・名東版編集室 水鳥さん  
12位 ..... 高崎フリモ編集室 佐藤さん  
13位 ..... くれよん一宮版編集室 瀬古さん



愛知支社 ちるるくらぶ編集室 阿内さん

14位 ..... 太田フリモ編集室 田中さん  
15位 ..... こんきくらぶ編集室 森田さん  
16位 ..... くれよん岩倉版編集室 井上さん  
17位 ..... くれよん江南版編集室 浅井さん  
18位 ..... はしまる編集室 武藤さん  
19位 ..... かにさんくらぶ編集室 小林さん  
20位 ..... 西尾フリモ編集室 竹内さん



アド通信社 むなぶ編集室 相川さん

(業務執行戦略室・加納)

## 新卒者の今 -2022.vol.3-

よっかいちai編集室に配属され4カ月が経ちました。四日市には、人出でにぎわう街並みやゆったりとしたのどかな風景があり、どちらも魅力的です。私の地元には情報誌が配られていないので、地域の魅力を発信できる喜びを実感しています。また、自分自身も「よっかいちai」やクライアントの皆様から、さまざまなことを学んでいます。地域の皆様と交流を深め、新しいことを吸収していく日々がとても楽しいです。私も「見て楽しい、知ってうれしい」。そんな心がわくわくする誌面を四日市の皆様にお届けし、恩返しをしたいと思っています。そのために、「力になれることは何か」を一番に考えていきます。四日市を盛り上げることは、日本全体の活性化に繋がるので、これからも地域課題に真摯に向き合い、地方創生を叶えるという夢に向かって精進してまいります。



(三重支社・清田)

部署だより NO.103

営業本部 東京支社/セールスプロモーション部



▲東京支社/セールスプロモーション部スタッフ

東京支社は1993年、いまから29年前に設立されました。オフィスはビジネスの街「新橋」に構えています。多彩な事業を東京から生み出すことで、広告代理店として常に時代の先端に挑戦してまいりました。今は企業等のセールスプロモーションを中心に、全国の情報誌、プロモーションツール、イベント、謎解き、ウェブ、SNSなど、多岐にわたる商材を取り扱い、日々さまざまな業種のクライアントのご要望にお応えしています。

また東京支社ではJLMN(日本地域メディアネットワーク)を活用した、全国のお客様と全国の情報誌をウェブで繋げる活動をしています。インターネットやオンラインの普及によりエリアに捉われない営業が増えています。このネットワークを活用し全国のお客様とハッピーメディアの架け橋となっていきたいと考えています。

本年度は、昨年スタートした自社媒体を皮切りに、もう一度自分たちの媒体を自分達で販売していくことに挑戦をしています。

東京支社一丸となって予算の達成に向け、日々まい進してまいります。

(東京支社・後藤)

## 編集後記

グループ会社が増え、社内でも活性化しているのを感じます。異なる文化が交わることで化学反応が起こり、さらなる進化が期待されます。その一方でコロナの感染者数は過去最大に。桁違いな数に愕然とします。しかし、営業活動をする上で2年前のような漠然とした恐怖感や、過去最悪の状況といった印象は受けません。もちろん、良い状況とは言えませんが、今を「最悪」と捉えなくてよい状況を生み出したのは、社会や会社が進化した証。積み重ねてきた対策が功を奏しています。我々の武器は情報誌の配布網であり、それを維持し続けられる営業力です(営業力の維持にはそれを下支える間接部門の力も必須!)。第4回、大営業祭が始まりました。中広グループ4社のトップを飾るのは誰なのか。今からワクワク、いやソワソワしています。全員営業の夏!頑張ってください。

(業務執行戦略室・岡本)

